



## 奥入瀬溪流利活用検討委員会開催 ～新たなステージでの取り組みに向けて～



▲Web会議での開催



▲委員長の石田筑波大学名誉教授



▲十和田市 小山田市長挨拶



▲会場参加の内山委員、九戸委員

令和3年10月7日、青森河川国道事務所において「第14回奥入瀬溪流利活用検討委員会」が開催されました。現在、奥入瀬溪流沿いを通る国道102号の迂回路として、奥入瀬(青樫山(あおぶなやま))バイパス整備を進めており、溪流内の自然環境の保全と観光振興を図ることとしています。委員会では今後展開する①教育モニターツアーの実施②インフラアンバサダーを活用した情報発信の強化③官民連携によるブランドカアップに取り組むことを提案し、議論を頂きました。

### ■主なご意見

- ・地域で生活する人たちの視点も重要であり、地元観光事業者の意見を丁寧に聞くことも必要である。
  - ・交通規制や入域料徴収の情報だけが一人歩きするのではなく、多様なツールを使って歩く奥入瀬を浸透させていくことが重要である。
  - ・バイパス完成に向けて観光・環境が主体となった体制づくりと連携の強化が必要である。
- 上記意見を踏まえ、今後も関係者で連携して取り組んで参ります。



<http://oirase-seseragi.com/>



<http://eco-oirase.com/ja>